

件名	令和5年度 第3回小千谷市地域公共交通協議会	第 3 回
		前 回 令和5年9月21日
日時	令和5年12月22日(金) 13:30~14:30	
場所	小千谷市役所 大会議室	
出席者	委員17名中9名 別紙委員名簿のとおり(佐野委員、水口委員、加藤委員、杵淵委員、小嶋委員は急遽欠席)	
	代理出席:大矢委員(代理:片貝町協議会副会長 羽毛田氏)	
	欠 席:吉田委員、新倉委員、山田委員、	
	事務局(にぎわい交流課) 佐藤課長、大平課長補佐、安達係長、高橋	
配布資料	別紙のとおり	
会議等の結果	会長進行	
	会 長:会議成立確認を報告願う。	
	事務局:本日の会議出席者数は全委員17名中9名。 規約第10条第2項の規定により、議員の過半数の出席により会議が成立していることを報告する。	
	協議事項	
	1.地域公共交通計画の策定(パブリックコメント結果)について	
	事務局:【資料1】説明 令和5年10月25日水曜日から11月21日火曜日までの4週間パブリックコメントで意見を募集した。提出状況は1件。意見の通り修正を行った。 以前6ページに記載されていた内容のうち、路線バスの現状に関する内容を6ページに、鉄道・路線バス・乗合タクシー・コミュニティバスといった、現在当市を運行している公共交通についてのそれぞれの役割については13ページに記載した。この通り修正し公表したい。	
	<u>異議なし:承認</u>	
	会 長:来年からこの計画に基づいて実行と進行管理を行う。引き続き協力願う。	
	2.令和5年度 小千谷市地域内フィーダー系統確保維持計画(循環バス)の事業評価について	
	事務局:【資料2】説明 循環バスについては、フィーダー系統確保維持費国庫補助金という補助金を入れて運行している。国庫補助金を受けている関係で、毎年1月末までに事業評価を行うこととなっている。 資料2に従い、国に自己事業評価を提出するもの。委員の承認をいただきたい。	
会 長:地域公共交通確保維持改善事業・事業評価表中の④⑤に記載されているAとCの意味は。		
事務局:国の示した「ABC」3段階での評価となり、Aは達成、Cは未達成ということ。		
委 員:4年前に比べて本町中央バス停の乗車人数がかなり減っているが、小千谷総合病院の移転の関係もあるか。		
事務局:循環バスは小千谷総合病院の移転に合わせて運行を開始したため、病院の移転とは関連がない。		
(裏面につづく)		

- 委員：移転が関係していないのであれば、バスの乗車人数が減少しているのは本町に店がないからではないか。
先日市役所から連絡があり、本町通りのシャッターが下りている店舗について質問があった。活性化を図りたいのではと思うが、遅いと感じている。
- 会長：今年度補正予算で商店街の空き店舗の調査を行う。まだ調査に入れていないが、数字を押さえておく必要があると考えている。
- 委員：空き店舗をイベントで使ってもらえれば非常にありがたい。
- 会長：来年 9 月に本町に複合施設ホントカ。ができるので、数字が変わるか見ていく必要がある。
- 委員：どんどん利用してほしい。

異議なし：承認

3. 乗合タクシー塩谷線の正式運行に向けた協議について

事務局：【資料 3】説明

異議なし：承認

報告事項

1. 乗合タクシー（池の平線、北山線、塩谷線）の運行状況について

事務局：【資料 4】説明

委員：塩谷線が思ったよりも伸びているので喜んでいる。北山線に関しては高校生の乗車がないので仕方がないと感じている。

事務局：当日配布資料説明

【「定期タクシー30（定期運賃タクシー実証実験）概要」について】

前回の公共交通協議会で、定期タクシー30の導入、実証実験を行う承認をいただいた。

11月分の実績を報告する。

3. 利用動向（3）目的地は、小千谷総合病院への利用が非常に多く、続いてイオンなどのスーパーマーケット、その他病院医院となっている。

タクシー会社様よりいただいたデータで、明確に行き先がわかるものを抽出し、行き先が町名となっていたものは除外して集計した。

3月末まで事業を実施するため、令和6年度第1回公共交通協議会で全期間分についてまた報告する。

【フリーバス小千谷車庫前－小千谷総合病院－三仏生－北五辺－池津線「時刻表」について】

来年度のダイヤ改正について越後交通から事前に話をいただいた。来年4月の改正について、大きな変更はないと伺っている。

ただ、小千谷車庫前から小千谷総合病院経由三仏生北五辺池津線について、3便は変わらないが、7時15分の便については小千谷総合病院を経由しない取り扱いとしたいと要望をいただいている。

この便は、五辺高梨地区および三仏生地区の方が、千田中学校に通う等のスクールバスとして、またその周辺地区にお住まいの高校生が、西高または小千谷高校へ通うために利用しており、小千谷総合病院を回っても乗り降りされる方がいない現状であり、この便について小千谷総合病院を経由しない取り扱いとしたいといったものである。

また、小千谷車庫前18時20分発池津三叉路18時55分着の便についても、同様の理由で小千谷総合病院を経由しない取り扱いとしたいと要望をいただいている。

会議等の結果

(次のページへつづく)

この路線は市内だけで完結している路線であり、利用者増加が難しい路線である。この路線を維持していくためには、利用がないバス停を経由しないという選択肢も仕方ないと考えている。

委員：定期タクシーについて。定額タクシーを運行しているタクシー会社様の意見は事前に聞いているか。制度はサブスクのようで面白い取り組みだと思う。

事務局：事業が始まる前に、様々な想定での対応を事前に伺っていた。特に現在タクシー会社様のサービスとして、介助が必要な方には病院内までお連れする等の手伝いをしているが、この制度でも行う必要があるかと質問があった。そういったサービスについても実施して欲しいとお願いした。

制度を利用される方は、病院へのニーズが高く、また歩行が困難などの理由で制度を利用されると考えている。実際に制度利用者からは、対応が良いと喜んでいただけている。

タクシー会社様からの苦情は今のところ特には聞いていない。小千谷ハイヤー協会の國松委員より話を伺いたい。

委員：特段タクシー運転手からの苦情は聞いていない。

11月のデータを見たが、1万円支払ってタクシーを利用できず損をした人もいるかもしれないと考えていたので、最低利用金額が12,540円ということで安心した。

タクシーの運転手が介助するといっても、できることとできないことがある。介助が難しいときは、次回の利用時に家の方の添乗をお願いすることもあるが、今のところそういった方の利用はない。車いすを利用している方はいるが、タクシーの運転手では介助することが難しい方は、おそらくこの制度は利用しないと思っている。

委員：路線バスについて。高校生の利用は怎么样了。

事務局：バスは高校生の利用が一番大きい顧客といえる。運転できる人は、なかなかバスには乗らない。まだ自分の交通手段を持っていない高校生からすると、バスや電車が非常に重要な交通手段になっている。そのおかげで路線を維持できているといえる。

委員：小千谷高校生は小千谷駅前まで行けばバスに乗れるが、西高校の場合は一番近いバス停はどこか。

事務局：市役所前のバス停を利用している。便によっては西高校前のバス停が利用できる。ただし、便数は少ない。

委員：小千谷高校の生徒は、駅から近いこともあり電車で通学している方が多い。郊外から学校へ通われる、例えば片貝地区とか、岩沢から学校へ通学する方がバスを利用している。

逆に西高校の生徒の場合は、西高校が昔の国鉄の魚沼線の終点の近くである。その位置関係から、小千谷駅まで電車に来て、駅からバスに乗るが多いように感じる。

委員：定額タクシーについて。利用者数などが話題になることがあるが、本日の資料について周知してもいいか。

事務局：問題ない。

利用希望者に関しては、まんべんなく色々な地区から利用希望があり、抽選を行い、利用者を決定している。11月12月と2ヶ月連続落選で利用できなかった方に関しては、1月は利用できるようにした。3ヶ月で1回も使えなかったという人がいないようにしている。

委員：タクシーの実証実験は今後どう進んでいく予定か。

事務局：今回県の補助金をいただいてこの実証実験を行っている。来年度も県は予算をつけると聞いている。ただ、小千谷市が今回と同じようにできるかは決まっていない。今年度末事業検証し、繋げられればと思っている。

委員：対象地区を広げるのは難しい状況か。

事務局：この事業を始めるに当たり、対象エリアから外れてしまった地区の方から、自分の地区も対象にして欲しいと連絡をいただいた。

その辺りも検討の余地はあると思うが、今回の対象地区を選定した際にタクシー会社様と協議した中で、ある程度近距離で何回も稼働できる半径を設定した。枠を広げるにはやり方を考える必要がある。

4. その他

事務局：今年度の協議会については今回をもって終了とする。
場合によっては書面協議を行う可能性がある。

5. 閉会

以上